

2015年邦人被害概況

1 邦人被害の特徴

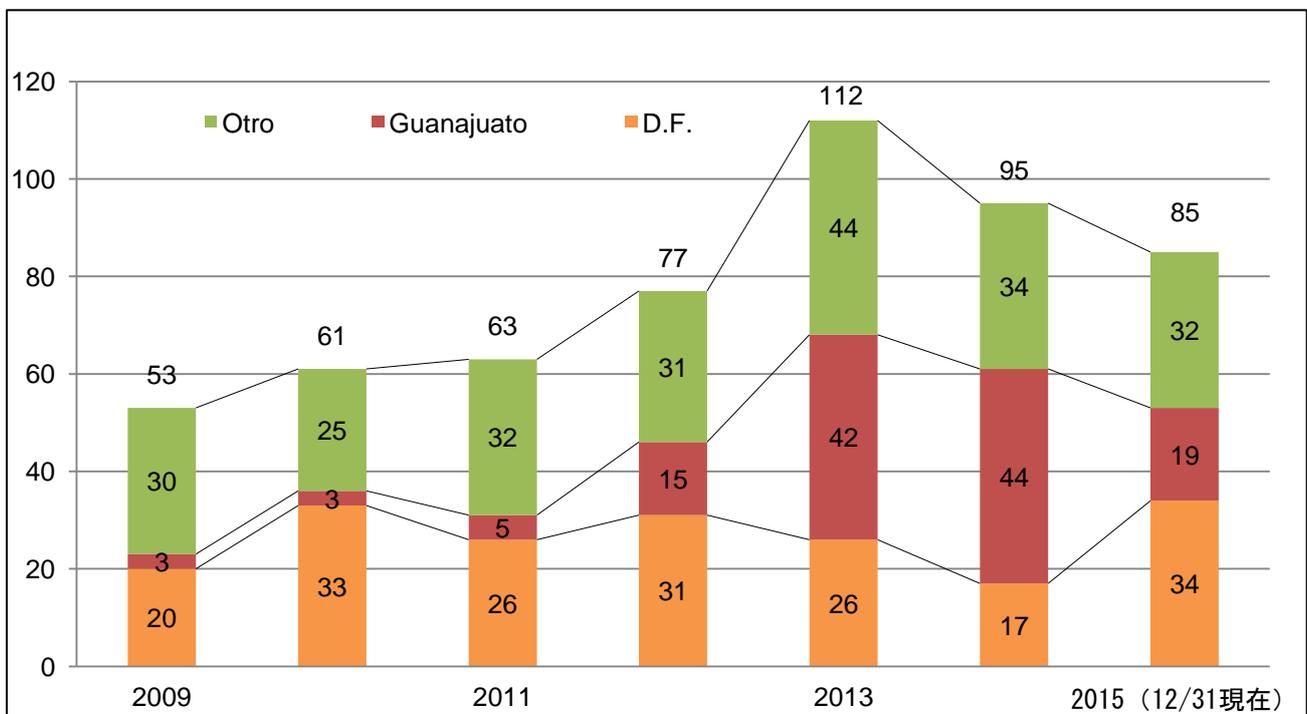
(1) 全体的特徴

ア 被害総件数は、前年比10件減少し、85件であった。2014年に引き続き2年連続の減少となった。

イ 地域別では、メキシコ市での被害が前年比+17件と約2倍に増加した。地方における被害は、51件と前年比-27件であり、2012年以降増加してきたグアナフアト州における被害は、19件（前年比-25件）と大幅に減少した。

ウ 被害の種類別では、窃盗（車上狙い、空き巣、置引き、すり及びひったくり）被害が53件と最多で、被害全体の62%を占めた。内訳は、車上ねらい被害が22件（前年比-23件）と最も多く、次いで、空き巣9件（前年比±0件）、すり8件（前年比-12件）となっている。

エ 強盗事件は16件と前年比6件増加した。強盗事件は被害全体の19%を占めている。



(2) 地域別特徴・傾向

ア メキシコ市

a 前述のとおり、メキシコ市の被害は34件と、前年比2倍に増加した。

（なお、2015年にメキシコ市検察庁に届けられたメキシコ市全体の犯罪被害通報件数は、189,873件で、前年比19,817件減少（-9.5%）した。殺人854件（前年比+105件）、誘拐55件（前年比-7件）、ATMや銀行利用後の強窃盗560件（前年比+166件）、タクシーの乗客に対する強盗221件（前年比-26件）と、ATMや銀行利用後の強窃盗が2年ぶりに増加、タクシーの乗客に対する強盗は2年連続の減少となった。）

メキシコ市における邦人に対する強盗等の凶悪事件は10件（前年比+7件）と、メキシコ

全国の凶悪事件16件の62.5%を占めた。

- b メキシコ市においては、路上強盗7件、事務所強盗1件、その他の強盗2件、脅迫・恐喝2件、窃盗（空き巣）1件、窃盗（すり）5件、窃盗（置引き）6件及び詐欺7件の被害が発生した。
- c 被害の発生場所は、クアウテモック区が18件と全体34件の半数以上を占め、次いでベニート・ファレス区、ミゲル・イダルゴ区で各3件、アルバロ・オブレゴン区、コヨアカン区及びベヌスティアノ・カランサ区で各2件、グスタボ・A・マデロ区1件、その他市内不詳3件であり、昨年に引き続きクアウテモック区での被害が目立った。
- d 昨年に引き続き、自称米国人による詐欺（未遂）被害が4件発生した。犯人の手口は、「スリ（窃盗）被害のため現金をなくしたが、重要な会議のためすぐに米国に帰国する必要がある。妻から送金させるのでお金を貸して欲しい」といったものであり、英語が話せる外国人を狙って犯行に及んでいるとみられている。

イ グアナファト州

- a 他地域での被害が減少傾向にある中、グアナファト州の被害は19件（前年比-25件）と大幅に減少した。
- b グアナファト州においては、窃盗（車上ねらい）12件、窃盗（空き巣）2件、窃盗（ひったくり）1件、窃盗（すり）1件及び強盗3件の被害が発生した。
- c 被害の発生場所は、レオン市7件、シラオ市5件、サラマンカ市3件、イラプアト市2件、セラヤ市1件及びその他1件である。

ウ その他の地域

- a その他の地域では、サンルイスポトシ州5件、アグアスカリエンテス州、ハリスコ州、メキシコ州及びキンタナ・ロー州で各4件、ケレタロ州及びバハカリフォルニア州で各3件、モレロス州、ミチョアカン州、チアパス州及びタバスコ州で各1件の被害が発生した。
- b サンルイスポトシ州においては、強盗1件、窃盗（空き巣）2件及び窃盗（車上ねらい）2件が発生した。
- c アグアスカリエンテス州においては、強盗（未遂）1件、窃盗（空き巣）2件及び器物損壊（不審者による接触）が1件発生した。
- d ハリスコ州においては、窃盗（車上ねらい）2件、詐欺1件及び窃盗（スキミング）が1件発生した。
- e メキシコ州においては、恐喝2件、窃盗（すり）1件及び詐欺が1件発生した。
- f キンタナ・ロー州においては、窃盗（置き引き）3件及び窃盗（車上ねらい）が1件発生した。
- g ケレタロ州においては、窃盗（車上ねらい）2件及び詐欺が1件発生した。
- h バハカリフォルニア州においては、窃盗（車上ねらい）2件及び窃盗（空き巣）が1件発生した。
- i その他、ミチョアカン州で強盗1件、モレロス州で詐欺1件、チアパス州で窃盗（すり）1件及びタバスコ州で窃盗（車上ねらい）が1件発生した。

2 邦人被害件数

(1) 被害届出件数

85件（前年比-10）

本集計は、当館に届け出があった件数であり、大きな被害が無かった場合等は大使館に被害の届け出を行わない可能性もあるため、実際の被害件数はこれより多いものと考えられる。

(2) 既遂・未遂別届け出件数

既遂 76件（-14）

未遂 9件（+4）

(3) 犯罪手口

強盗 16件（+6） ※凶器使用16件（うち、けん銃使用8件）

恐喝 4件（+1）

詐欺 11件（+10）

器物損壊 1件（-1）

窃盗 53件（-26）

※うち、車上ねらい 22件（-23）

置引き 10件（+1）

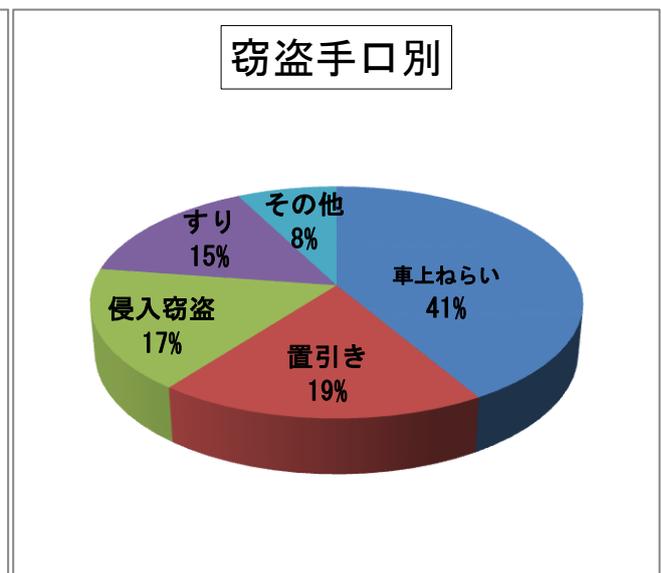
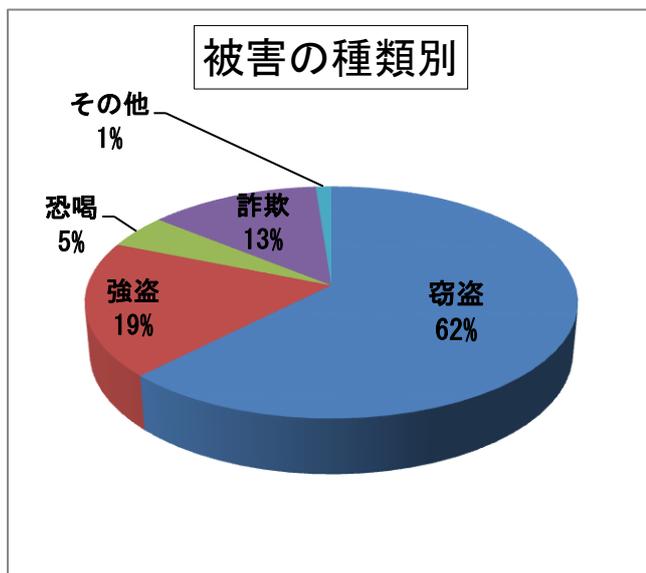
空き巣等侵入窃盗 9件（+3）

すり 8件（-1）

ひったくり 0件（-4）

窃盗その他 4件（+1）

強盗被害16件は、全て凶器を使用（拳銃使用8件、刃物使用8件）しており、また、12件は日没後に発生している。更に、被害者が何らかの怪我を負った事件は5件であり、声を上げたり、急な動作をしたり等明確に抵抗していなくても、犯人に危害を加えられ、重傷を負う事件も発生していることから、不幸にして強盗の被害に遭った場合は、落ち着いて犯人の要求に従い、急な動作（声を上げたり、急に立ち上がった等抵抗したとみなされるような行為）を避ける等の注意が必要である。

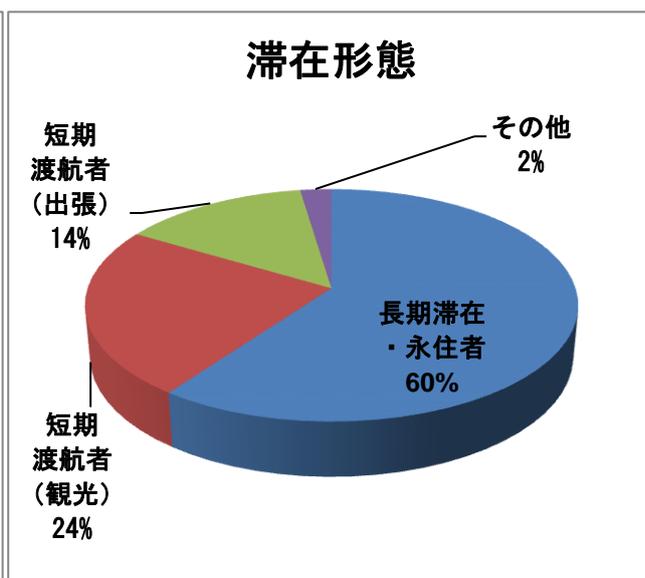
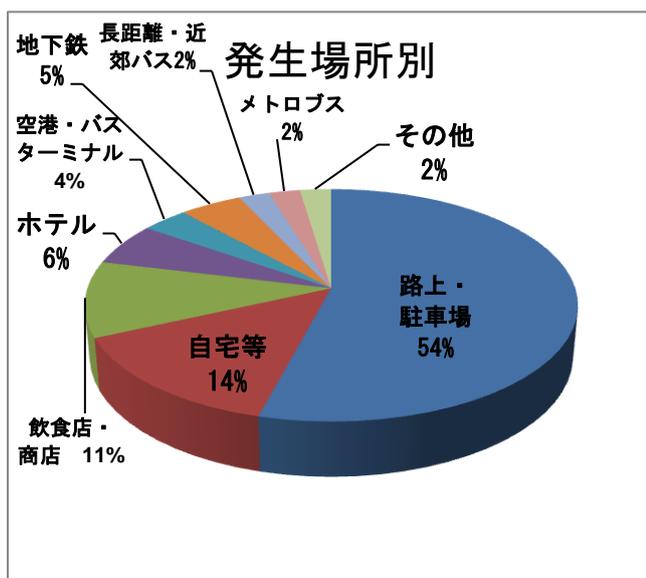


(4) 発生場所別

路上・駐車場等屋外	46件 (-16)
自宅等	12件 (+4)
飲食店・商店	9件 (+1)
ホテル	5件 (-2)
空港・バスターミナル	3件 (±0)
地下鉄	4件 (±0)
長距離・近郊バス	2件 (+1)
メトロバス	2件 (+2)
その他	2件 (±0)

(5) 被害者別

長期滞在・永住者	66名 (-13)
短期渡航者(観光)	17名 (-4)
短期渡航者(出張)	13名 (-6)



被害の詳細については、[「邦人被害一覧」](#)をご参照ください。

以 上